

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

お客さまへ

※本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買求めの取扱店にご相談ください。なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取り付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

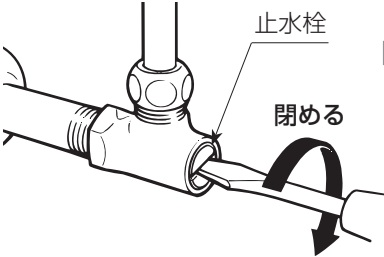
1 分岐金具の取付け

注意 1 参照

1. 止水栓を閉めます。

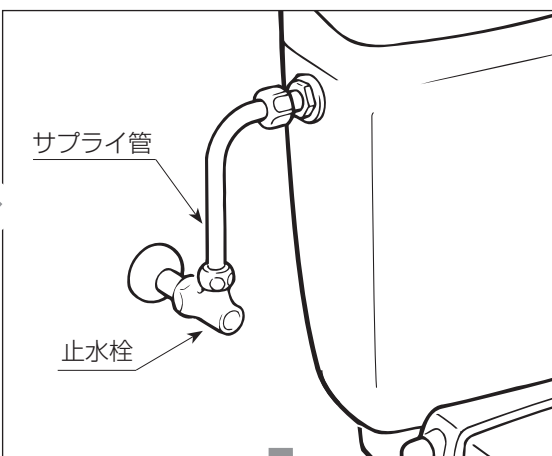
便器の止水栓を⊖ドライバー等でいっばいに閉め、給水を止めます。

※止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



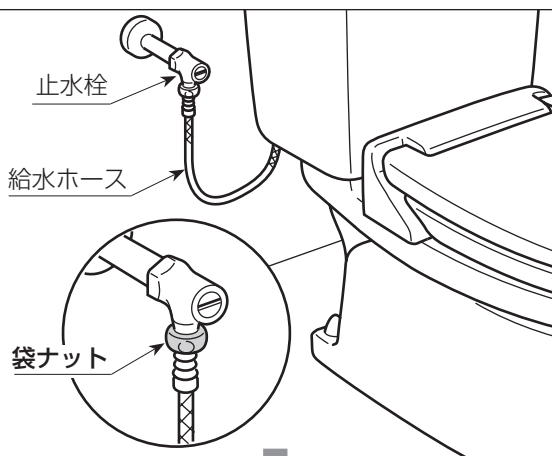
2. 給水の確認を行います。止水栓と便器（タンク）の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付け方法が異なります。

■止水栓と便器（タンク）がサプライ管で接続されている場合

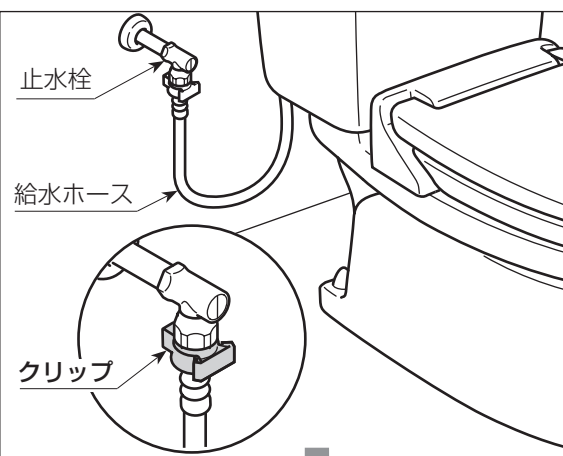


■止水栓と便器（タンク）が給水ホースで接続されている場合

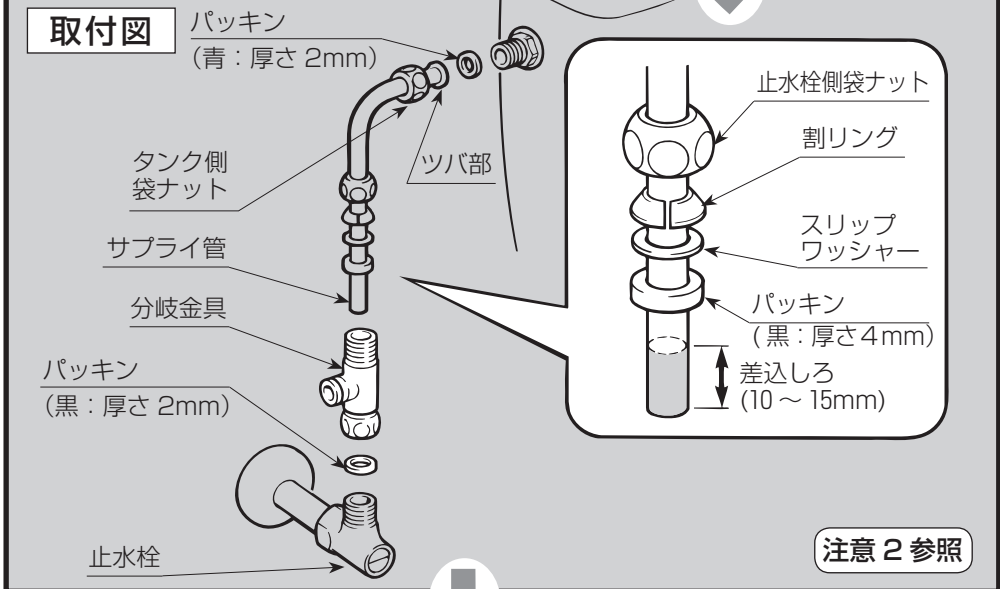
●給水ホースを袋ナットで固定



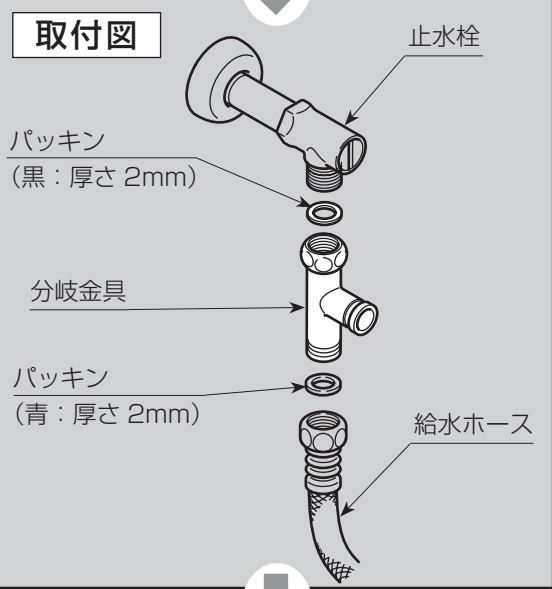
●給水ホースをクリップで固定



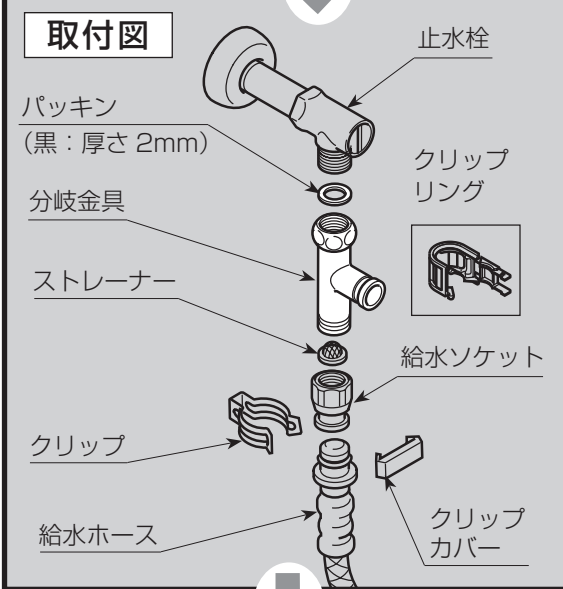
取付図



取付図



取付図

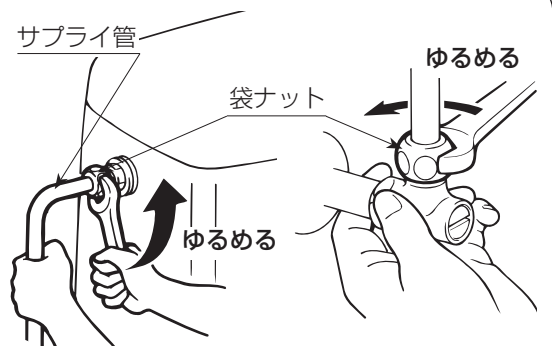


3. サプライ管を外します。

- (1) タンク側と止水栓側の袋ナットをゆるめてサプライ管を外します。

※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

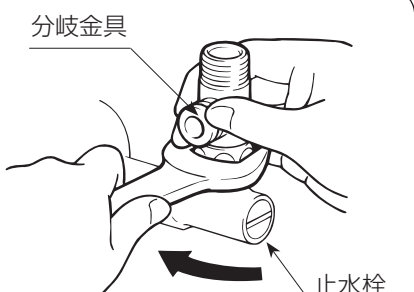
注意 3 参照



4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
（締付トルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm}）

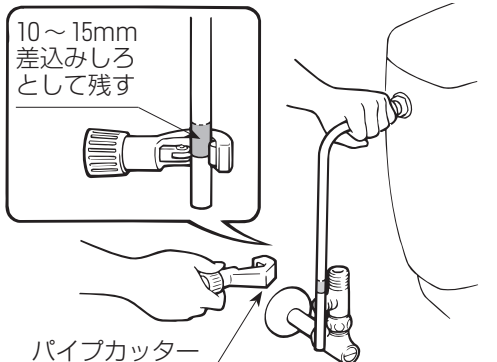
別売品のタンク給水ホースを取り付ける場合は、裏面の「補足」をご覧ください。



5. サプライ管を切断します。

- (1) サプライ管の端（ツバのない側）を現物合わせで、分岐金具の差込しろとして 10 ~ 15mm 残るように印を付けます。
- (2) パイプカッターを使ってサプライ管を切断します。

注意 5 参照

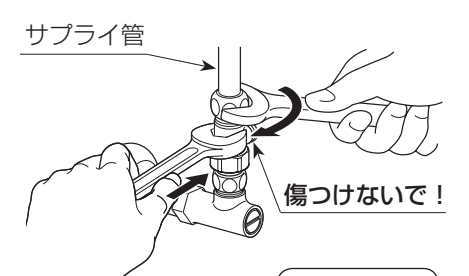


6. サプライ管を取り付けます。

- (1) 切断したサプライ管にタンク側の袋ナット、分岐金具側の袋ナット、割リング、スリップワッシャー、パッキン（黒：厚さ 4mm）を通して分岐金具に差し込みます。（上記の取付図参照）
- (2) ボールタップとサプライ管の間にパッキン（青：厚さ 2mm）をはさみ、タンク側の袋ナットをはじめに手でいっばいに締め付けてから工具で増締めします。（注意 4,6 参照）

- (3) 分岐金具の袋ナットは、はじめに手でいっばいに締め付けてから工具で増締めします。

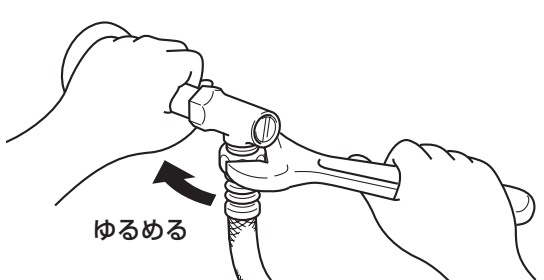
（締付トルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm}）
増締め時、分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーを当てて、分岐金具を固定しながら袋ナットを締め付けます。



注意 7 参照

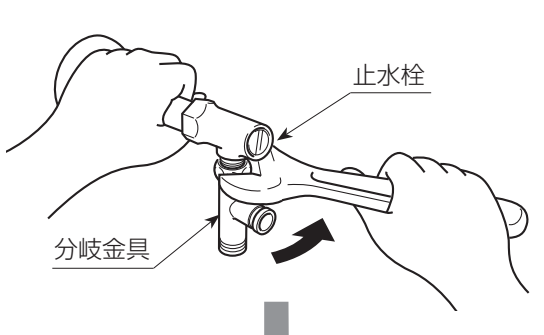
3. 給水ホースを外します。

- (1) 止水栓側の袋ナットをゆるめます。
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



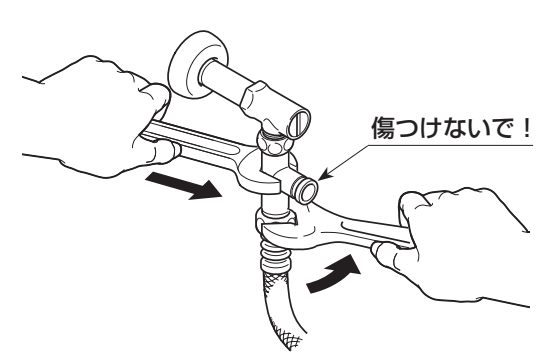
4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
（締付トルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm}）



5. 給水ホースを取り付けます。

- (1) パッキン（青：厚さ 2mm）を入れて給水ホースを分岐金具に取り付けます。
- (2) 分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、給水ホースの袋ナットをスパナ等でしっかり締め付けます。

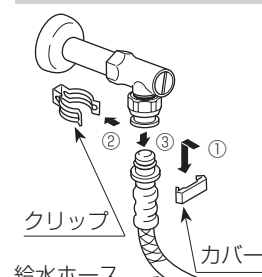


給水ホースがねじれないように注意してください。

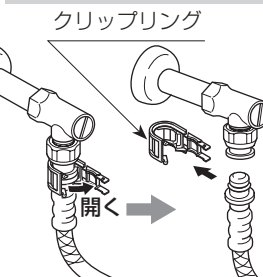
3. 給水ホースと給水ソケットを外します。

- (1) 止水栓からクリップを外してホースを抜きます。
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

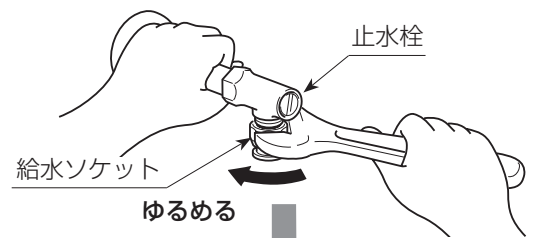
■クリップ式の場合



■クリップリング式の場合



- (2) 給水ソケットとストレーナーを外します。



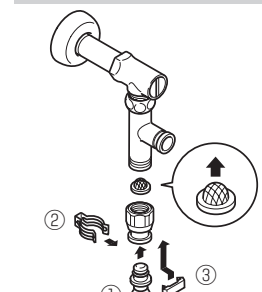
4. 分岐金具を取り付けます。

（左記参照）

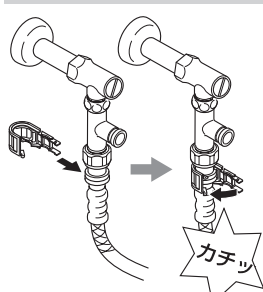
5. 給水ホースと給水ソケットを取り付けます。

- (1) ストレーナーを入れて給水ソケットを分岐金具に取り付けます。
（締付トルク 10 ~ 15N・m {100 ~ 150kgf・cm}）
- (2) 給水ホースを給水ソケットに差し込み、クリップで固定します。
取付け後にクリップを回し、確実にハマっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

■クリップ式の場合



■クリップリング式の場合



注意 6,8,12 参照

注意 1

- 止水栓に分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006（止水栓付）を使用してください。
※上記以外の分岐金具では漏水の原因になります。

注意 2

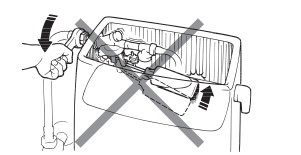
- 各部品の向きと順序を間違えないでください。
※間違えると漏水します。
- 既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース（品番：CWA-24C）を別途手配してください。
※漏水の原因になります。

注意 3

- 止水栓やサプライ管に無理な力をかけないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。

注意 4

- ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締めてください。
※ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



注意 5

- サプライ管のツバ部は絶対に切断しないでください。
 - サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続してください。
 - 止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定してください。
※漏水の原因になります。
- 固定できない場合はタンク給水ホース（別売品）をご使用ください。

注意 6

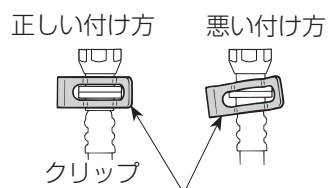
- 当社製ストレーナー付便器の場合は、別途手配のストレーナー付パッキンに交換してください。
このとき同梱の青パッキン（厚さ 2mm）は取り付けしないでください。
品番：26-10-2

注意 7

- サプライ管の接続は確実に行ってください。
※袋ナットの締付けが不十分ですと漏水する恐れがあります。

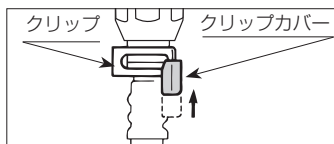
注意 8

- リングを傷つけないように注意してください。
※リングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。
- クリップは確実にハマ込めてください。
※きちんとハマっていないと漏水します。

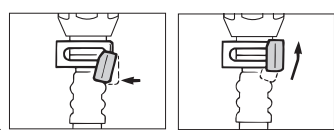


- クリップカバーは下記のようにはめ込んでください。

① クリップカバーをクリップに引っかけます。



② クリップカバーの後側を押し上げ気味に差し込みます。



注意 9

●電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意してください。

注意 10

●Oリングを傷つけないように注意してください。
※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

注意 11

●給水ソケットは回らませんのでご注意ください。

注意 12

●クリップは確実ににはめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。

注意 13

●クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。

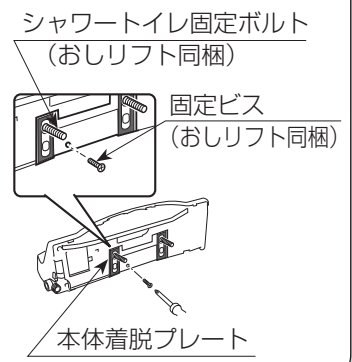
参考 1

●クリップを外す際は、クリップを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように下方向に押すようにして外してください。



注意 14

●便座昇降装置おしリフト(CWA-40)とセットする場合、おしリフト説明書セットに同梱の固定ビスを本体着脱プレートのビス穴に取り付けてください。



参考 2

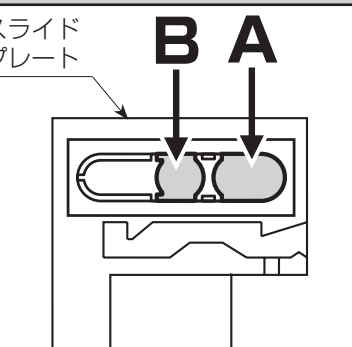
●便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。

●取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをおすすめします。

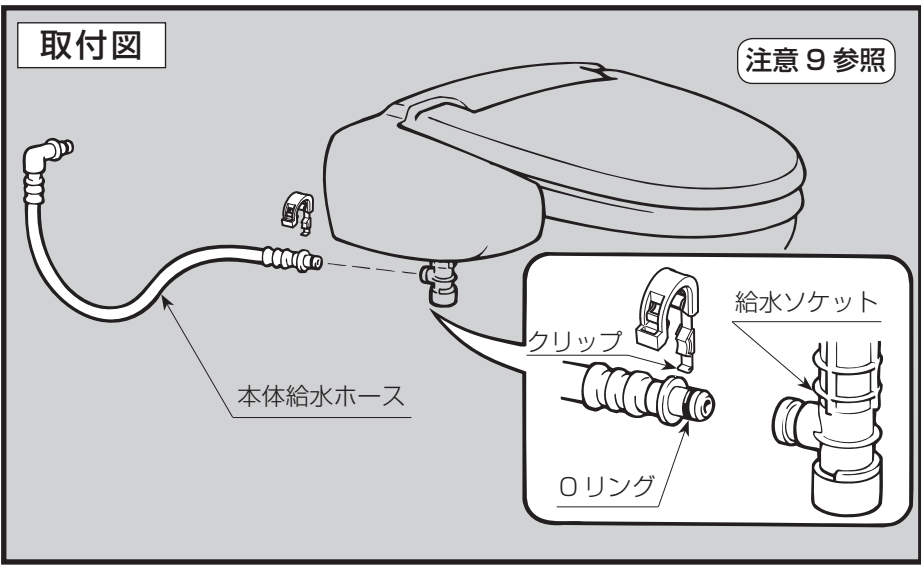
注意 15

●プレートの穴が合わない場合は、下図で示す調節部をニッパ等で切断して長穴にしてください。

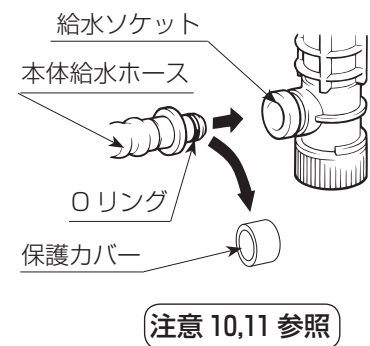
※切断後は、切断面をヤスリ等で仕上げてください。



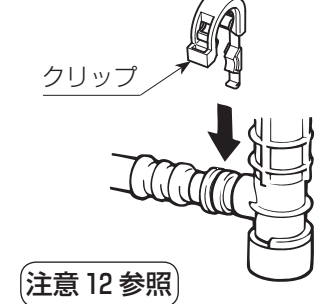
2 本体給水ホースの取付け（本体側）



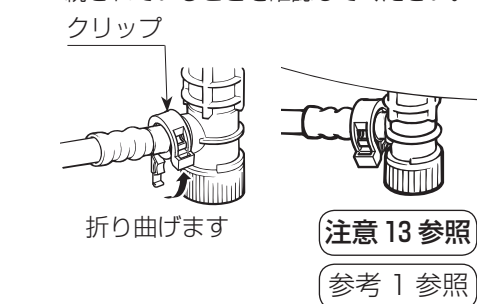
(1) 給水ホース先端の保護カバーを外し、本体給水ホースを給水ソケットに差し込みます。



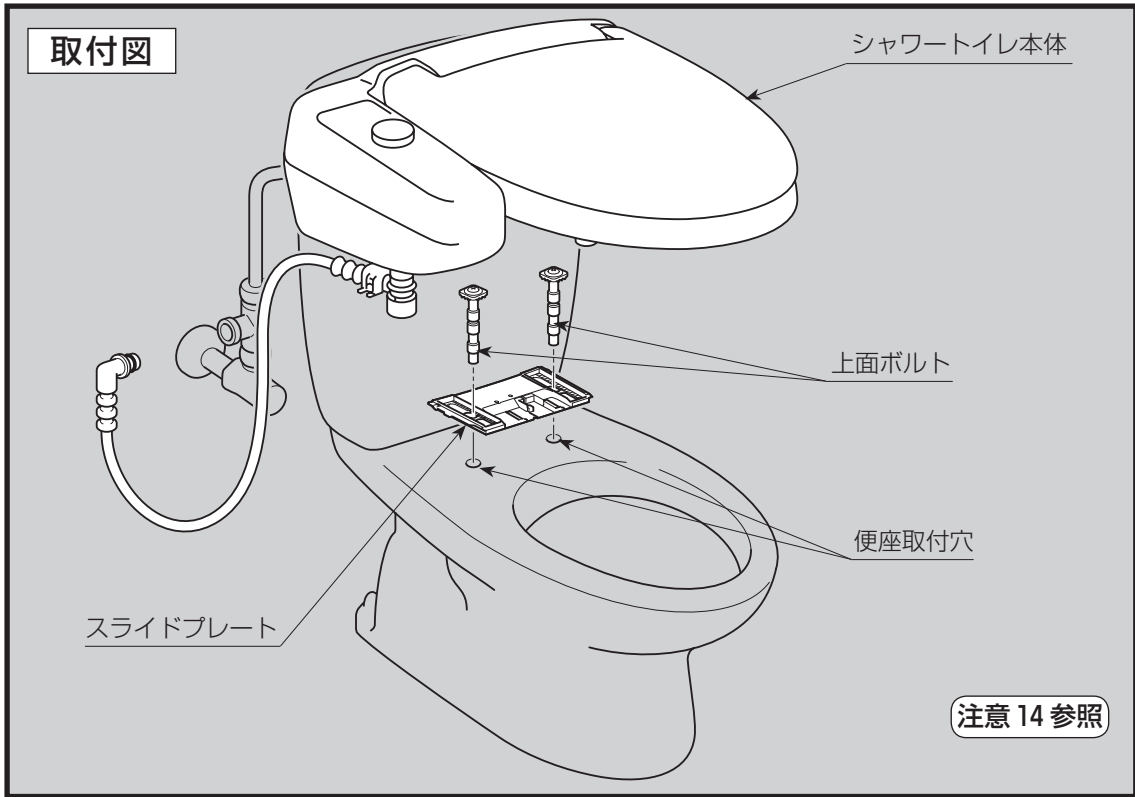
(2) クリップを本体給水ホースと給水ソケットに差し込みます。
※クリップに方向性はありません。



(3) クリップを折り曲げ、本体給水ホースと給水ソケットを確実に固定します。取付け後にクリップを回し、確実ににはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



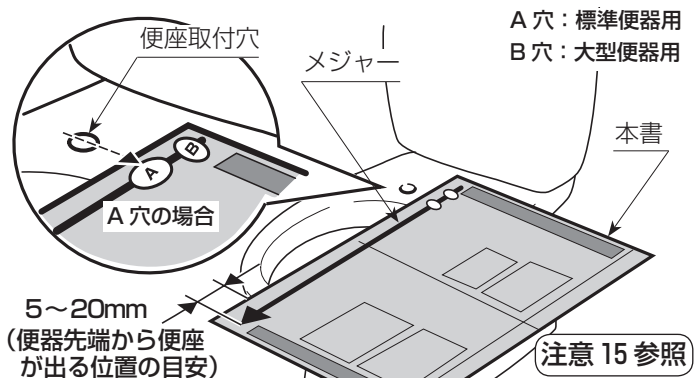
3 シャワートイレ本体の取付け



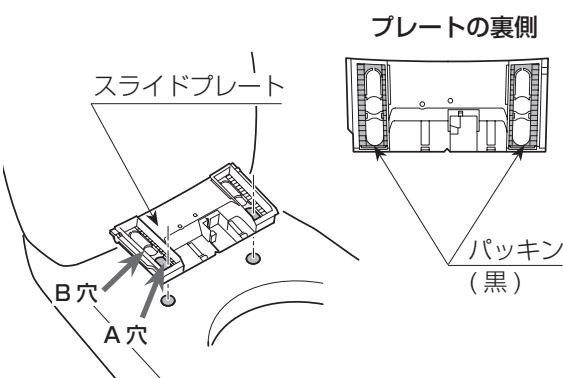
2. スライドプレートを使器に固定します。

(1) 下記メジャーで便座取付穴から便器先端までを測り、プレートの穴を決定します。

- ① メジャーの **A** または **B** を便座取付穴に合わせます。
② 矢印が便器先端から目安として 5～20mm 出る穴を選択します。

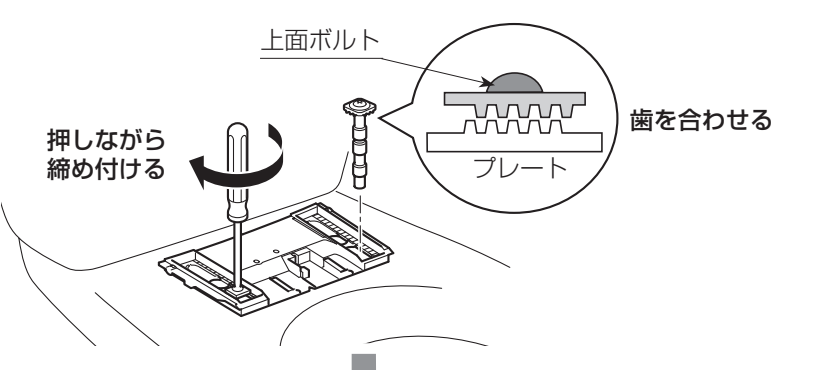


(2) 便座取付穴とプレートの穴を合わせます。
※ プレートの向きを間違わないでください。黒いパッキンがついている側を使器側に向けます。



(3) 上面ボルト 2 本を穴に差し込んでプレートの凹凸を合わせます。

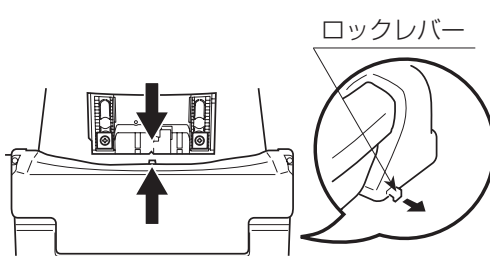
(4) ボルトが浮かないように上から押しながら、回らなくなるまでしっかり締め込みます。この後さらに 1～2 回転程度回し、確実に締まっていることを確認してください。(参考：締付トルク 1～3N・m)
※ 締め込みがゆるいと便座がずれたり外れる原因になります。
※ ゴム部に水をつけると挿入しやすくなります。
※ インパクトドライバーは使用しないでください。



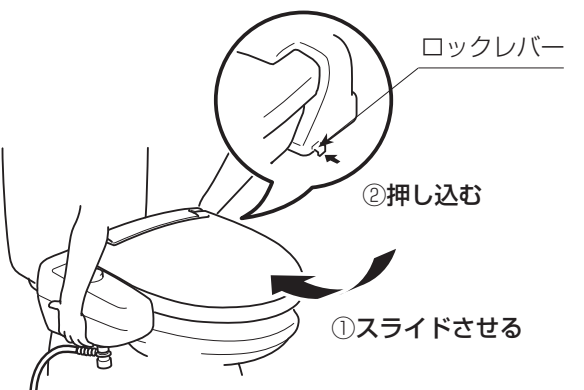
3. 本体を取り付けます。

別売品の部屋暖房ユニットまたはプラズマクラスターイオンユニットを取付ける場合は、シャワートイレ本体を使器に設置する前に取り付けてください。
※ 部屋暖房ユニットまたはプラズマクラスターイオンユニットの取付けは各施工説明書を参照してください。

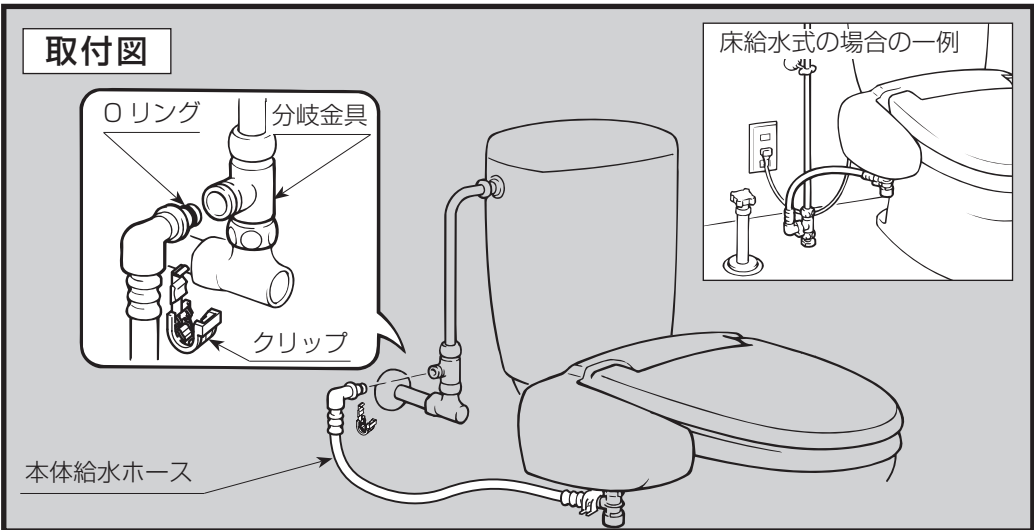
- (1) 本体を使器の上に置き、プレートの切り欠きと本体背面部にある凸部を合わせます。
(2) ロックレバーを引き出します。



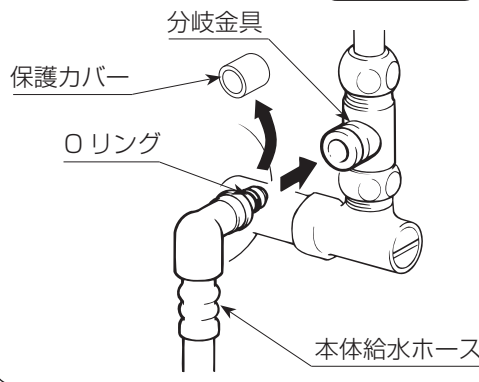
(3) 手前を少し浮かせるようにして、本体をプレートが見えなくなるまで奥にスライドさせ、ロックレバーを押し込んで固定します。
※奥までしっかりスライドしないと、ロックレバーは押し込めません。固定後、本体を軽く前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認します。
※本体のガタつきが気になる場合は、上面ボルトをしっかりと締め付け直してください。(2-(4))
※本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはありません。



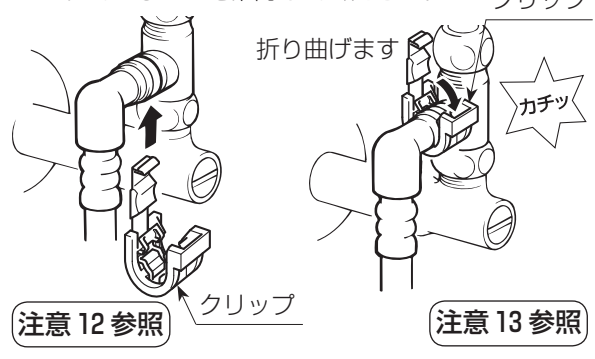
4 本体給水ホースの取付け（分岐金具側）



(1) 給水ホース先端の保護カバーを外し、本体給水ホースを分岐金具に差し込みます。 **注意 10 参照**



(2) 本体側と同様にクリップを取り付け、クリップを回して確実ににはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



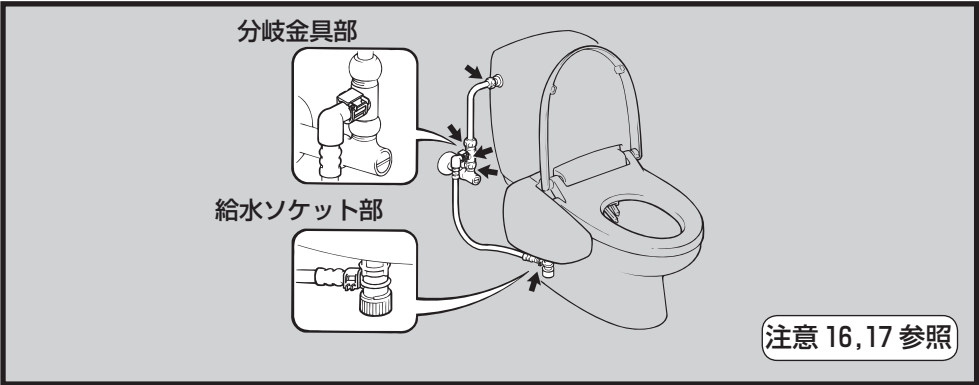
B

A

← 図 2 参照 →

一 4 2 X 型 取 付 画

5 通水の確認



- (1) 止水栓を元の位置まで左に回して開き、タンクおよびシャワートイレに給水します。
- (2) タンクの洗浄ハンドルを操作して各接続部の漏水がないことを確認します。
※ 漏水する場合は、ナット類を締め直すか、再組付けしてください。
- (3) タンクに水がたまり、そのあと確実に水が止まることを確認します。
※ タンクに水がたまらなかつたり、または水が止まらない場合は、ボールタップと浮玉を確認してください。
注意 16 参照

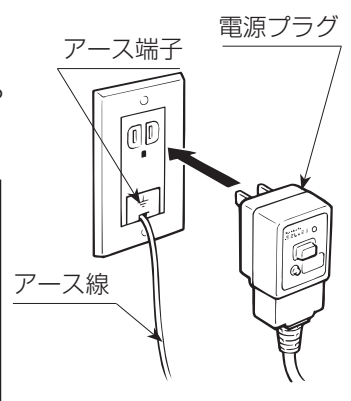
6 リモコンの位置決め・取付け（リモコン付の場合のみ）

※ CW-K47, CW-K47A, CW-K45, CW-K45A, K37, K35 型…リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。
CW-K47Q, CW-K47AQ, CW-K45Q, CW-K45AQ, K37Q, K35Q, K43Q, K41Q, K33Q, K31Q 型…フルオート便器洗浄ユニットに同梱の施工説明書をご覧ください。

7 電源の接続

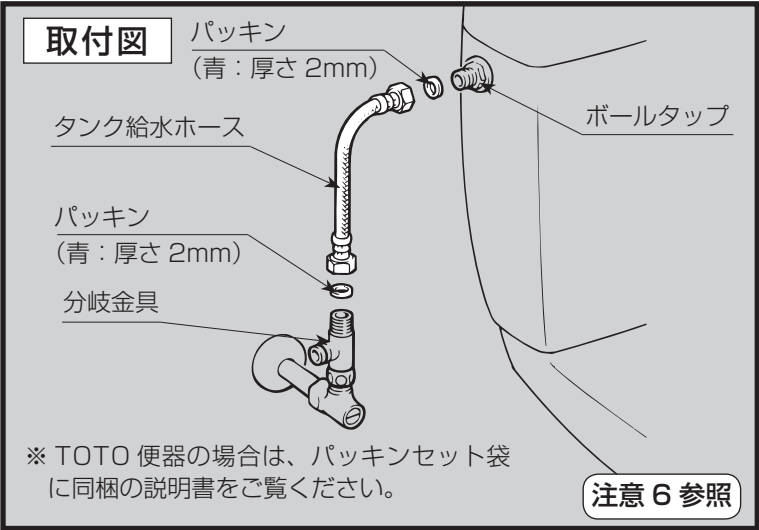
1. アース線を接続します。
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

警告 **注意 18 参照**
確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。



3. 電源が入っていることを確認します。
- (1) 本体の電源ランプ（緑）が点灯することを確認します。
- (2) 温水タンクの空だき防止のため、試運転までは電源スイッチを押して、すべての表示ランプが消えた状態にしておきます。
- もし、電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプ（緑）が点灯することを確認します。
-

【補足】タンク給水ホース（別売品）の取付け ●先頭ページの【タンク給水ホースの使用可能な条件】を確認してください。



- タンク給水ホースを取り付けます。**
- (1) パッキン（青：厚さ 2mm）を入れてタンク給水ホースをボールタップに取り付けます。
注意 4 参照
- (2) パッキン（青：厚さ 2mm）を入れてタンク給水ホースを分岐金具に取り付けます。
- (3) 分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、タンク給水ホースの袋ナットをスパナ等でしっかり締め付けます。
-

試 運 転 （施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

1. 電源スイッチを押します。
2. おしり洗浄を確認してください。 **注意 21 参照**

- (1) 着座センサーを紙や布で覆ってください。
※ 人が便座に座ったことを感知する着座センサーが付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥（乾燥付の場合）は、着座していないと作動しません。
<CW-K47、CW-K47A、CW-K45、CW-K45A、K37、K35 の場合>
※ 便フタ・便座開閉は着座センサーを紙や布で覆った状態では作動しません。
確認する際は、いったん紙や布を外してから操作してください。
- (2) おしりスイッチを押します。
このとき、シャワーが噴出しますので、周囲に飛び散らないように手の平で受けます。
※ はじめは、タンクが空になっています。タンクが満水になってからノズルが伸びてシャワーが出るまで 1～2 分程度かかります。
(洗浄強さダイヤルを最強にしておくと早く出えます。)
シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。

3. ビデ洗浄を確認してください。
- おしり洗浄と同じようにビデスイッチを押します。ビデ用ノズルが伸びて、おしり洗浄よりも約 25mm 前にシャワーが噴出します。

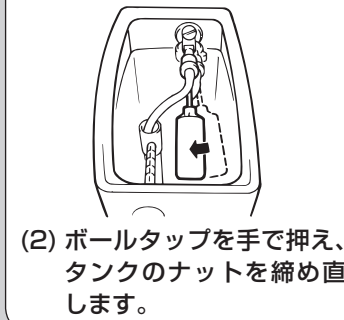
- 便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？
1. 便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。
 2. 便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め（品番：75-2608）を手配して貼り付ける。
※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。



施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

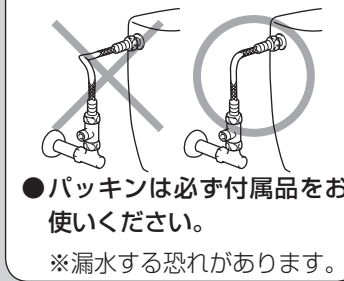
- 注意 16**
- タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認してください。
浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直してください。
- (1) タンクのナットをゆるめて、ボールタップを垂直に立てます。



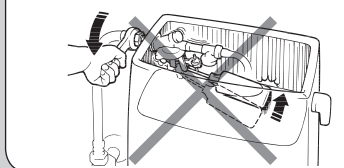
- 注意 17**
- 止水栓を開けたままストレーナーを外さないでください。
※ ストレーナー部から漏水します。

- 注意 18**
- 必ず便器への取付けが終了してから電源を入れてください。

- 注意 19**
- タンク給水ホースは鋭角に曲げないでください。
※ 破損して漏水する恐れがあります。



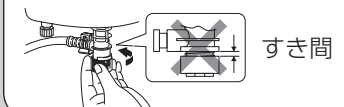
- 注意 20**
- ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締めてください。
※ ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



- 注意 21**
- 便フタを閉じた状態で外し、使用した場合は、おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥（乾燥付の場合）の各機能が作動しません。

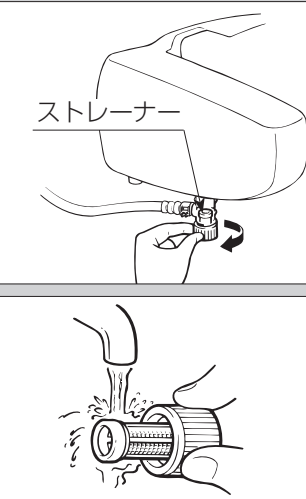
- 参考 3**
- 脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

- 注意 22**
- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を開けてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※ ストレーナー部から漏水します。



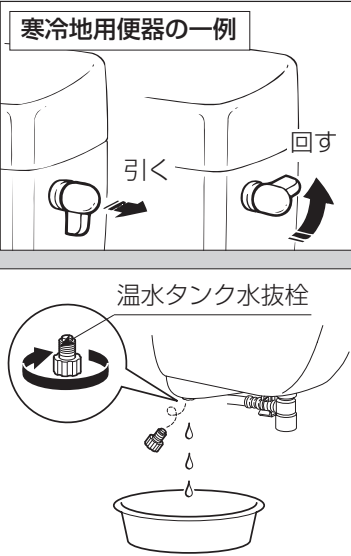
水の出方が悪い場合は、給水ソケットの中にあるストレーナーを掃除してください。 **注意 22 参照**

- (1) 止水栓を右に回して閉めます。
止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
- (2) 本体左下のストレーナーを外します。
このとき、洗面器等を下に置きます。
- (3) ストレーナーを掃除します。
- (4) ストレーナーをしっかりと締め付けます。
- (5) 止水栓を元の位置まで開きます。



お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

- (1) 止水栓を右に回して閉め、タンクへの給水を止めます。
(寒冷地用水抜式は、室内の水抜栓を操作します。)
- (2) タンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。
- (3) 洗面器等を下に置き、本体左下の温水タンク水抜栓を外して温水タンク内の水を抜きます。



- (4) 本体左下のストレーナーを外します。
注意 22 参照
- (5) 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。
- (6) おしりスイッチを押します。（本体バルブ内の水を抜きます。）
約 5 秒後、止スイッチを押してください。
- (7) ストレーナーと温水タンク水抜栓をしっかりと締め付けます。
注意 22 参照
- (8) 電源プラグをコンセントから抜きます。

